

Yahoo! MAP、オフラインでもハザードマップなどの地図が確認できる「防災モード」に、ダウンロードした地図が、自動で最新情報に更新される機能を提供開始

～ 事前に地図をダウンロードしておくと、
災害時や通信障害時などでも
自宅や職場周辺などの地図がオフラインで確認可能 ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供する「Yahoo! MAP」（Android版）は本日、災害時や通信障害などの緊急時でも、オフラインでハザードマップや自宅周辺などの地図（※1）が確認できる「防災モード」に、事前にダウンロードした地図が自動的に更新される機能（以下、本機能）の提供を開始しました。

Yahoo! MAP
オフラインで使える
「防災モード」
ダウンロードは自動更新でいつも安心
※Android版のみ提供

洪水の浸水想定区域
神奈川県横浜市○○1丁目1-1
435 MB・2023/01/09に有効期限が切れます
洪水浸水想定区域 浸水深
0.5 3 5 10 20(m)

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から、今年で28年、2011年3月11日に発生した東日本大震災からは12年が経ちます。国土交通省が実施した「国土交通白書 2021」の防災に関する国民意識調査では、防災・減災の実現に重要と考えることの第一位が「ハザードマップや避難場所・経路の確認」という結果になり、ハザードマップの確認が重要視されています。

（※2）

「防災モード」のハザードマップでは、国土交通省や各自治体からのデータ（※3）を元に、「土砂災害の警戒区域」「洪水の浸水想定区域」「津波の浸水想定区域」「地盤のかたさ（ゆれやすさ）」の4つのハザード情報が、通常の地図上に重なる形でそれぞれ表示されます。また、事前に地図をダウンロードしておくことで、災害時や通信障害などインターネットが使用できない環境でも、オフラインでハザードマップや、自宅や職場周辺などの地図を確認できます。

さらに、本機能により、ユーザーがダウンロードしたハザードマップなどの地図は、自身で更新する必要がなく、Wi-Fi接続時に自動で更新されるため、常に最新の状態で確認できます。

「情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。」をミッションに掲げるYahoo! JAPANが提供する「Yahoo! MAP」は、今後もユーザーからのニーズが高い機能の提供や移動に関する情報を正しく、わかりやすく、迅速にお知らせしていくために、機能拡充や改善を行い、ユーザーの利便性向上に努めていきます。

■Yahoo! MAP 「防災モード」の使い方など

■「防災モード」の使い方

・自宅を登録する場合



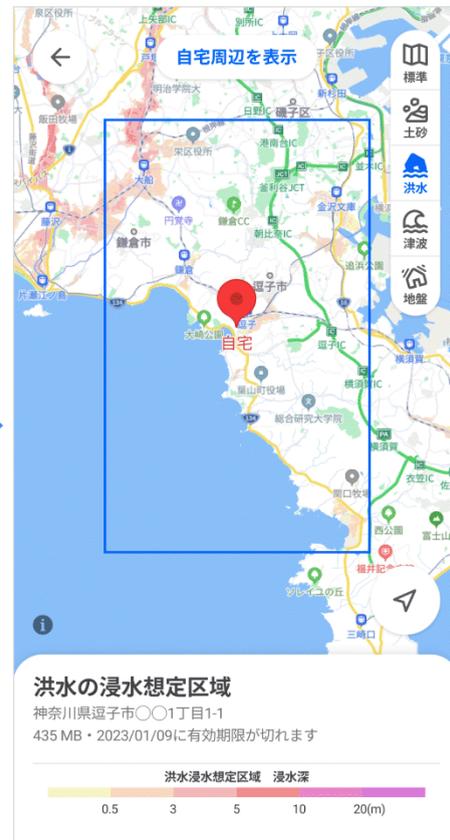
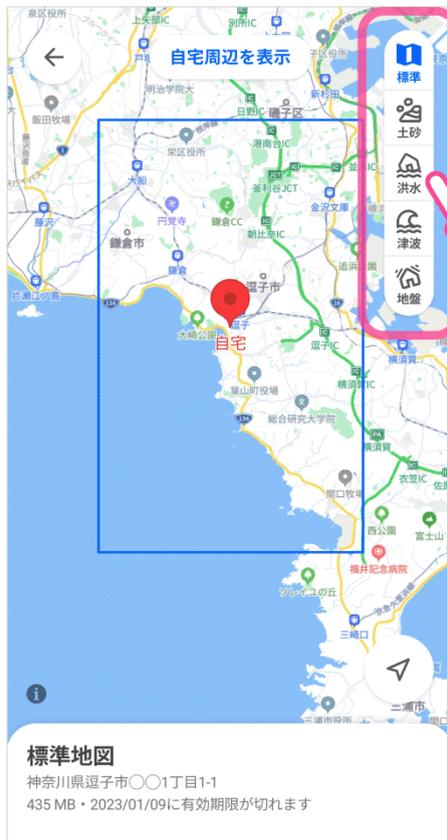
・自動更新の設定方法



■「防災モード」の確認方法



※画像はイメージです



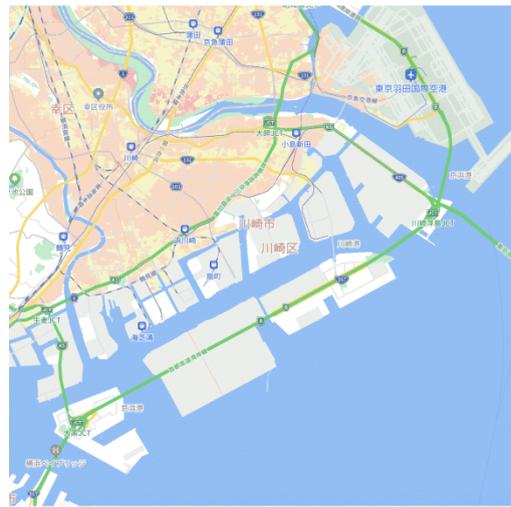
■ハザードマップの表示例と凡例

ハザードマップの表示例

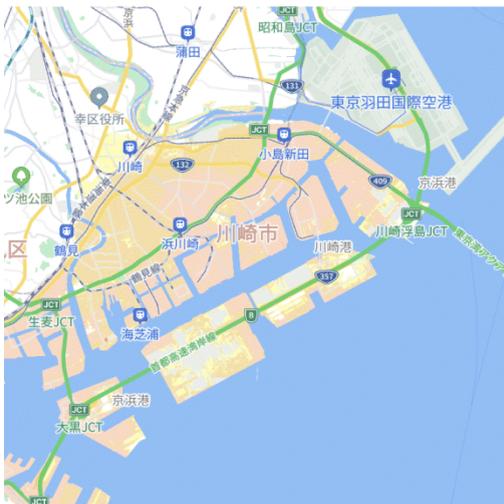
土砂災害の警戒区域



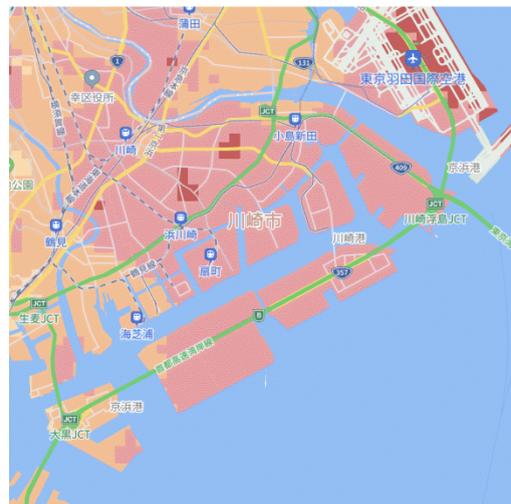
洪水の浸水想定区域



津波の浸水想定区域



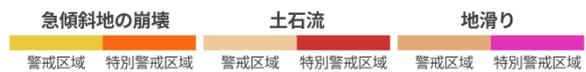
地盤のかたさ(ゆれやすさ)



(C)Mapbox,(C)OpenStreetMap,(C)Yahoo Japan

ハザードマップの凡例

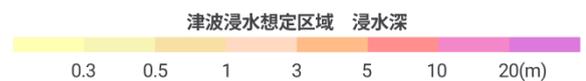
土砂災害の警戒区域



洪水の浸水想定区域



津波の浸水想定区域



地盤のかたさ(ゆれやすさ)



※1：自宅、職場を中心に南北それぞれ約10km、東西それぞれ約6kmの範囲

※2：国土交通白書 2021 「防災に関する国民意識」

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r02/hakusho/r03/html/n1224000.html>（外部サイト）

※3：データ協力元は下記の通りです

【地盤のかたさ】防災科学技術研究所

【洪水浸水想定区域】国土数値情報（洪水浸水想定区域）、各都道府県提供データ

【津波浸水想定区域】国土数値情報（津波浸水想定区域）、各都道府県提供データ

【土砂災害警戒区域】国土数値情報（土砂災害警戒区域）、各都道府県提供データ